

越谷市多文化共生推進プラン（素案）に対する意見等一覧

No	該当箇所	ページ (素案)	意見要旨（パブコメ）	意見等に対する市の考え方
1	第1章 3 プランの位置づけと計画期間 (1) プランの位置づけ	7	第4次総合振興計画では「多文化共生のまちづくり」として、10年間施策を進めてきたと思いますが、その実績評価、改善策がプランにどのように反映されているか読み取れません。	本プランは、これまで総合振興計画に基づき個別に進めてきた多文化共生事業を分野別計画として体系的にまとめたものとなります。また、第4次総合振興計画の実績評価及び改善策については、第4次総合振興計画の中で評価し、第5次総合振興計画で反映できるように努めます。さらに、現在策定段階にある第5次総合振興計画についても、本計画との整合性を図ります。
2	第2章 5 外国人市民アンケート	13	配布先が住民基本台帳登録者（16歳以上）で、図表10（p.11）と同じ人口とすると、回答者数364人（回答率推定6%）は少ないため、工夫して比率を上げた方が良いと思います。	ご意見の趣旨を踏まえ、次回アンケートを行う際に内容を検討する上での参考とさせていただきます。
3	第3章 3 基本指標	18	各団体やサークル活動への参加や出席人数の推移（交流、相互理解の把握）を入れた方が良いと思います。	定期的に各団体への参加者等の情報については伺っていますが、人数については、市の取組が直接影響を及ぼすものではないため、指標としては取り入れません。
4	第4章 3 多様性を活かした魅力的なまちづくり (1) 外国人市民の社会参画	27	多言語版市民ガイドブックについては、外国人（10名程度）にも協力をしてもらい、内容や配布の仕方などについて意見を聞いてみてはどうでしょうか。	ご意見の趣旨を踏まえ、外国人市民が必要とする情報がわかりやすくまとめられるよう、参考とさせていただきます。
5	第4章 4 国際交流を推進するまちづくり (1) 地域における国際交流	29	取組の一つに次の内容を追加して欲しいです。 取組名：国際交流バスハイク 取組内容：日本人と外国人が半々で1台のバスに乗り、旅行を楽しみながら交流を図る。 実施主体：市民活動支援課か越谷市国際交流協会	ご意見の趣旨を踏まえ、今後の事業等を検討する上での参考とさせていただきます。
6	第5章 4 多文化共生と地域コミュニティ	30	多文化共生センター越谷（仮）を設立し、市内にある外国人コミュニティの居場所作りはもちろんのこと、いつでも利用できる場、交流の場、意見交換できる場、相談できる場を作って欲しいです。また、当該センターは、災害時に「災害多言語支援センター」としても機能する仕組みにして欲しいです。	ご意見の趣旨を踏まえ、外国人市民向けの総合的活動拠点整備を検討する上での参考とさせていただきます。
7	—	—	外国人市民を一括りにするのではなく、在留資格の長期滞在者と短期滞在者で対応を分けた方が良いと思います。	在留資格により外国人の地域への関わりかたが変わり、生活状況に応じた対応が必要と認識していますが、資格の変更等により外国人の定住化も進んでいるため、包括的に事業を進められるよう計画作成を検討してきました。
8	—	—	各地区センター職員が、日本人市民と外国人市民をつなぎ、地域の現状や課題の把握に努めつつ、日常的な交流のための取組みを進めていく役割を担うことを明記した方が良いと思います（コーディネーターとして）。また、この施策の評価方法及びコーディネーター育成研修の実施を明示した方が良いと思います。	ご意見の趣旨を踏まえ、外国人市民が日常的に地域活動に参加できるよう、今後の事業等を検討する上での参考とさせていただきます。
9	—	—	p.17下から6行目 外国人市民にもわかりやすく→わかりやすく p.22下から3行目 外国人字度生徒等→外国人児童生徒等 p.25下から8行目 快適した生活をしてもらう→快適な生活を送ってもらう	該当箇所につきましては、適宜修正します。